

発行：安全な生活を願う市民の集い (Tel/Fax : 042-725-2545)

「ネバー、ネバー、ネバー、
ネバー、再稼働！」

右は、1月29日(日)、東京・渋谷の「脱原発・ツイッター・デモ」で、参加者手作りのプラカードの中に見かけた言葉です。1月4日の野田総理記者会見のモジリではありますが、今の私達の切なる願いが表れています。

現在、日本の原発は定期点検等のため全54基中3基しか稼働していません。このままいけば4月末には全ての原発が止まるとのことです。

今年はずいぶん厳冬です。暖房などの電力需要は増えているはずですが、政府からは昨年夏のような節電の呼び掛けはありません。企業が操業自粛を強いられているという話も聞かれません。つまり、原発がたった3基しか稼働しなくても、実際は痛くも痒くもないのです。節電への国民の努力や継続的な対策の成果もあるでしょう。一方で、「実は昨夏、まだ6%の余力があった」という計算も報告されています。電力は足りているのです。

1月28日付・朝日新聞によれば、枝野経済産業相は、今夏の電力需要について、「《原発ゼロ》を想定して対策を講じると表明しています。枝野さんは、「電力各社は原発の代替発電を増やしている」「社会全体にまだ節電余地がある」などを理由に、強制的な節電措置を講じなくても《原発ゼロ》で今年の夏を乗り切れるとの見解です。ならば、このまま54基全ての再稼働を、永久に封じ込めてもよいではありませんか？

ネバー、ネバー、ネバー、再稼働！です。枝野さんには、予想される原発の既得権益者からの反発に負けないで！と言いたい。国民の安全を最優先に！勇気ある政治を願って止みません。

3月11日(日)は、全国各地で、様々な集会やデモが予定されています。福島原発事故は、まだ何も解決していません。むしろ、放射能被害は一段と広範にわたり、深刻度も増しています。どうぞ、集会やデモにご参加ください。一緒に考えましょう。仲間の輪を広げましょう！

2月12日(日)・14:30~17:00

講演会「隠された内部被曝の危険」

講師：矢ヶ崎克馬さん(琉球大学名誉教授)

会場：四ツ谷・「ニコラバレ」(9階・ホール)

=JR四ツ谷駅・麹町口すぐ前=

主催：脱原発・自然エネルギーを考えるカトリック市民の会/資料代：500円/連絡先：090-4396-7446(三上)

2月11日(土)

『さようなら原発・

1000万人アクション in 東京』

(全国主要都市・原発立地県 一斉アクション)

会場：代々木イベント広場・

ケヤキ並木

時間：13:00~オープンコンサート

13:30~集会(集会後デモあり)

呼び掛け人：大江健三郎さん・他8氏

お問い合わせ：TEL・03-5289-8224

《<http://sayonara-nukes.org>》

ご家族・友人、誘い合わせて
参加しましょう！

読者からのお便り(1月24日)

……震災関連の政府重要会議で議事録が作られなかった件、私は真相を知りたくて、政府の事故調査検証委員会にまで電話(03-6268-7682)で廻りました。電話を取った40代の受付男性は、「私はそのニュースを観てないので知らない。NHKの調査で議事録が無いと言うならヒアリングしかありませんね。」と、にべもないのです。マスコミへの無関心。この人達が日本を背負えるのか全く覚束ない。次々と問題が起きる福島原発、私達は根気負けしないので、やるっきやないという心境です。私の友人(八〇代・女性・北海道在住)からは次のような手紙がきました。

『：これからも、チェルノブイリに続く新たな地球被曝許さじを掲げていきます。放射能の墓場と化したチェルノブイリを再び生まないように立ち上がらねばと、考えを新たにしています。でも、こちこちにならず、多くの人を巻き込んで、もうひと遊びというところ。本当の樂園作り、これから……です。黙っていれば、後世の者から加害者と言われても仕様がなないですネ。核分裂の時のエネルギー利用が原子爆弾ですし、発電に利用したのが原発！使用済み燃料には死の灰が1020キログラムとやら。これを止める決意が出来ない！経済優先の歯止めが無い！』(町田市・K・Yさん)

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。